

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	下呂さくらんぼ教室 (小坂さくらんぼ教室)		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 17日		2025年 2月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数) 46
○従業者評価実施期間	2025年 1月 31日		2025年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・こども園に併設されている	<ul style="list-style-type: none"> ・担任や加配・支援保育士と支援内容について話し合う。 ・支援会議に参加している。 ・入園の移行支援、並行支援に繋がるように行事への参加を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園での集団生活の様子をじっくりと見学する機会を設け、より良い支援を検討していき、実践に繋げる。 ・たけはらこども園は併設でないため、見学や連携の時間を十分に設ける様にする。
2	・組織体制、チームワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・指導後などに話し合いができ、課題や改善に繋げて子どもによりよい支援となるように努めている ・互いの状況等がある程度把握し合い、無理なく業務に取り組める風通しの良い職場づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修での学びを活かして療育を行い専門性を高める。 ・職員間で様々な意見を伝え合いながらいろんな視点で考えていき子どもや保護者にとって満足していただける支援を行っている
3	・各関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・就学に向けた懇談や子どもの体験などの時間を確保し、スムーズな移行に繋げている。 ・学校教育課の担当者や言語聴覚士に助言を受けている。 ・下呂温泉病院のリハビリ見学をさせていただき、療育の参考にしている。 ・健診やあそびのひろばに参加し、保健師と連携を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の会議などに参加したり、報告を受けたりし、連携を深めていく。 ・地域の福祉サービスについて学びを深めていく。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・今年度からサテライト (小坂さくらんぼ教室) となったこと	<ul style="list-style-type: none"> ・サテライトの職員が1名であったこと ・下呂さくらんぼ教室から距離が遠い 	<ul style="list-style-type: none"> ・サテライトには2名の職員を配置できるよう検討する。 ・児童発達支援管理責任者の出向く日にちを増やす。
2	・施設の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーになっていない ・床暖がなく冬場が寒い ・別室に物が多い ・天井に吊り遊具が付けられない 	<ul style="list-style-type: none"> ・導線を確認し、スロープ設置を行う ・床暖工事は難しいため、子どもの発達や動きに合わせてホットカーペットやマットなどを活用し、心地よく過ごせるようにする ・不要なものを排除し、整頓しやすい環境作りを早急に行う ・人の手でできる感覚遊びを多く取り入れていく
3	<ul style="list-style-type: none"> ・開けた相談場所になっていない ・保護者同士の交流会が持たにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・面談時しか話がしにくいと保護者の方が感じてみえる ・働く保護者がほとんどであり、日中に集まるのが難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方からの声を待つばかりでなく、こちらから声を掛けて懇談の時間を設けたり、気軽に話ができる関わりを持つ。 ・さくらんぼのつどいなどで集まった際に、保護者同士での交流が持てる時間を設ける。